

都市緑化フェア・老馬谷ガーデン報告書

環境学部 創生学科3年 山田菜奈世・前塘亜夢・佐藤史花

・都市緑化研究会参加のきっかけ（山田）

私が都市緑化研究会を知るきっかけは飯島研究室に訪問した際、先生からガーデンを造っている団体があると聞きました。その活動に魅力を感じ活動に参加したいと思いました。先生に参加したいと言うとすぐに会長と副会長に伝えてくださり、ガーデンの見学をしました。ガーデンを造る前は雑草などがたくさんありとてもガーデンを造る状況ではなかったと聞いていたので、初めてガーデンを見たときはきれいに整備されてガーデンの形になっていたので都市緑化研究会の活動の凄さを実感しました。その後何度か見学をしてお花見などの地域活動にも参加しイベントなど様々な経験をさせていただきました。



飯島研究室訪問の際先生が以前勤めていた大学でAKB48のフォーチュンクッキーを教授や学生と一緒に踊り交流を深めたという話を聞きました。私はもともと踊ることが好きだったため楽しそうだなと思っていると、飯島先生が4月1日の老馬谷ガーデンのオープンイベントでダンスをするのはどうかと提案してくださいました。私はあまりにも突然だったため正直半分冗談でおっしゃっているのではないかと



思ってしまいましたが、飯島先生は本当に老馬谷ガーデンでのダンスを踊る計画を立ててくださいました。踊りはその年に流行った恋ダンスに決まり早速中心となるメンバーを募集しようと数人声をかけました。あまり興味がないことやダンスが好きではないなどの理由から何人かに断られてしまいましたが前塘さんと佐藤さんは積極的に参加に協力してくれました。私はガーデンでダンスをすることが楽しみだと思ふ反面少し不安もありましたが、コアメンバーの支えがあり少しずつ不安がなくなっていました。老馬谷ガーデンで



の練習では都市緑化研究会のメンバーも真剣に踊ってくれました。また回数を重ねるうちに段々踊りが上手になっていくのを見てとても嬉しかったです。

・ミニヨコのイベントに参加して（山田）

4月1日のガーデンのオープンに合わせて恋ダンスを練習していきましたが3月20日の子供たちを中心とし、街を造るという中川のミニヨコハマというイベントで恋ダンスを踊らないかというお誘いを受けました。正直4月1日のオープンイベントや25日のプレイベントのことで頭がいっぱいだったのでミニヨコは余裕があれば参加するという気持ちでしたが、地域の皆様の配慮や協力のもと参加することが決まりました。かなり急だったためミニヨコの打ち合わせの予定が合わずコアメンバーの一人と都市緑化研究会の副会長にも協力してもらい一度だけの打ち合わせだったので不安だらけでした、何度もコアメンバーで話し合い、どうすれば子供たちにわかりやすく楽しく踊ってもらえるかなどを考え、子供たちの参加率を増やすためにお菓子を配布し、オリジナルTシャツを衣装として配布するなど色々な案を出し前日もコアメンバーで集まり何度も流れを確認するなどをして当日に臨みました。最初は子供たちがなかなか集まらないのではと不安に思っていました。ミニヨコの責任者の方などの協力があり子供たちはたくさん集まり、ダンスも楽しそうに踊ってくれたので私もとても楽しむことができました。ミニヨコのイベントは地域の方や飯島先生、恋ダンスメンバーや都市緑化研究会の二年生の方と副会長の協力があったため無事に終わることができ感謝しています。



・活動を通して（前塘）

今回、恋ダンスチームとして参加させていただいて、大学二年生の春休みがとても充実した日々となりました。チームとして一緒に活動した仲間はもちろんですが、活動を快諾し協力してくれた、都市緑化研究会の皆さん、練習への参加やイベントへの参加を調整して下さった地域の皆様、そして全体の活動の調整や広報活動に力を尽くして頂いた都筑区役所の皆様に感謝申し上げます。

ダンスの中心メンバーは普段から一緒に行動していますが、今回の活動で新たな面が見られたことが嬉しかったです。意見や活動方針を伝達してくれる山田さんや、イベントの活動に対する提案をしてくれる佐藤さん。練習してきたことや、準備してきた期間を振り返ってみると仲間に助けられ、協力し合いながらこの活動を出来たことが私にとって一番の誇りです。

日々の活動に力を尽くすとともに、恋ダンスの練習に参加していただけて本当に嬉しかったです。初めた頃はガーデンで皆さんと恋ダンスを踊っていることを想像できませんでしたが、ダンスをしているときの皆様の表情はとても素敵でした。

ミニヨコで一緒にダンスを踊ってくれた子供たちが話しかけてくれたり、Tシャツを着てくれたり、一緒に写真が撮れたこと、楽しかったと言ってもらえたことが何よりも嬉しかったです。不安なことも多く、緊張することもありましたが、この活動に参加して良かったと思える場面が沢山ありました。

また何かのかたちで地域の皆さんとの交流を深めつつ、老馬谷ガーデンが地域の交流の場として活用されるようなお手伝いできればいいなと思います。

・活動を通して（佐藤）

今回恋ダンスチームとして活動に参加させていただいたことで多くの人と関わり、充実した時間を過ごすことが出来たことに感謝しています。山田さんに誘われ、ガーデンでダンスなんてすてき、楽しそうという気持ちで参加しましたが、ガーデンの手伝いやイベントに参加し本気で取り組む皆さんをみて、自分も全力でやらなければならない、やりたいと感じるようになっていきました。NPO 法人ミニシティ・プラスさま主催のミニヨコのイベントに参加させていただくことが決まり、事前打ち合わせに参加すると大人スタッフの方がミニヨコを成功させるために試行錯誤しながら行動している姿をみて、プレッシャーや不安を感じました。わかりやすい振付のアナウンスを何度もシュミレーションして迎えた当日は多くの子供たちが踊ってくれて、親しんでくれてとても幸せな気持ちになりました。学校の芝生で行った練習会では皆さん笑顔で踊ってくださり、緑のあるところで体を動かすことは本当に楽しく、とても重要なことであると実感しました。

活動に参加すると、何か新しい事するなら何でも協力するよ、ダンス家で練習してくるね、オープンイベント恋ダンス楽しみだねなど声をかけてくださり、皆さん本当にあたたかく、今ではガーデンはもちろん、中川に愛着をもっています。愛着をもてたこと、誇らしく思います。

・今後の活動について

4月1日のオープンイベントはあいにくの雨で恋ダンスを踊ることはできませんでした。しかし、ミニヨコや3月25日のオープンイベントで地域の方と一緒に踊ることができたのでとても満足しています。今後はダンスだけではなくほかの新しいイベントや企画をして緑地でのふれあいの場を増やしたいと思います。